

平成 29 年度 農産物等研究専門部会 実施計画（案）について

検討事項

（1）今年度の取り組みについて

- ・全体スケジュールの確認
- ・各取り組みの実施内容等の確認
- ・拡充したい取り組みの検討

（2）今後の予定について

（3）その他

農-1 大学と農家の意見交換会（地域連携による農産物づくりの検討等）

計 画

概要・目的		概要 <ul style="list-style-type: none"> ・地元農業者を対象に、明治大学黒川農場の見学会を実施し、大学の教職員に施設や大学の取り組み、研究内容等について紹介を行う。 ・大学と地元農業者の相互の取り組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげる。
		目的 【地域交流】 明治大学黒川農場での取り組み等を紹介してもらう見学会を実施し、地元農業者と大学関係者の交流を深める。 【地域連携の強化】 黒川産の農産物の販売促進のため、地元農業者と大学が新規農産物や郷土農産物の栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。
実施体制、対象者等		対 象：地元農業者、明治大学 事務局：川崎市農地課
実施内容	実施予定日	未定
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	①明治大学黒川農場の施設紹介 ・黒川農場の施設を紹介。 ②研究活動内容や研究成果の紹介 ・黒川農場で行っている研究や取り組みの紹介 ③明治大学教員と地元農業者による意見交換 ・今後の、農産物等の生産に関する連携等について
	予算等	—
その他		・今後も大学と農家の意見交換の場を検討してく。

農-2 アスパラガスの新たな栽培方法「採りつきり栽培」の実施 (地域連携による農特産物づくりの検討等)

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規ホーラーを使用し、一作で採りきる「採りつきり栽培」の展示ほ場を作り、栽培講習会を行うなどし、新たな特産物・収穫体験としての可能性を検討する。 <p>目的</p> <p>【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【地域連携の強化】地元農業者と大学が農産物の新たな栽培方法等について情報交換する機会を設け、地域連携の体制を強化していく。</p>
実施体制、対象者等		<p>対 象：地元農業者、明治大学</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施（予定）日	<p>平成 29 年 巡回検討会 4月13日、6月6日、7月10日 実施</p> <p>平成 29 年 病害虫講習会 6月6日実施済み</p> <p>平成 29 年 栽培（育苗）講習会 11月（予定）</p> <p>平成 30 年 収穫物（目揃え会）講習会 2月（予定）</p>
	実施場所	黒川地区全域（展示ほ場：黒川上地区）
	周知・PR	黒川生産支部回覧板
	内容	<p>①栽培講習会の実施</p> <p>②見本畑設置、栽培実習の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区に見本畑を設置し、栽培を実習できる機会を設ける。 ・アスパラガスの苗を地元農業者に配布する。
	予算等	—
その他		—

昨年度の取り組み

実施概	実施日時	平成 28 年 12 月 27 日、平成 29 年 1 月 26 日、3 月 15 日
	実施場所	黒川地区全域（展示ほ場：黒川上地区）
	参加者数	
実施状況 (写真等)	<p>平成 28 年 12 月 27 日 明大生田校舎ほ場見学(黒川農業者 4 人参加) アスパラの生育状況を確認した。 明大農学部 元木悟准教授対応</p>	
	<p>平成 29 年 1 月 26 日 栽培講習会 (黒川農業者 19 人、関係者 12 人参加) 講師 元木悟(明大農学部准教授)、大学院学生 川崎智弘(種苗会社担当)、 岩淵裕樹(川崎市農業技術支援センター)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
	<p>平成 29 年 3 月 15 日 展示ほ場設置、定植講習会、 苗配布(農業者 17 人、2,270 株)</p>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区に展示ほ場が設置されたため、実際に栽培方法が確認できるのは良かった。 ・苗を配布してくれるので、取り組みやすかった。 ・採りつきり栽培だけでなく、キャベツの品種比較試験等他の野菜の話しが聞いて良かった。 ・アスパラガスを産地化するのであれば、今回限りでなく、数年は継続して苗の供給をしてもらいたい。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<p>来年 3 月～4 月の収穫に向けて技術指導を行う。また、展示ほ場を中心に黒川の農業者向け技術講習会や視察などを開催する。</p>	
その他	<p>黒川生産支部との共同開催</p>	

農-3 農産物に関する講習会の開催

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品種比較、土づくり、防除等栽培に役立つ講習会を、大学と連携して開催する。 <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。 【環境保全】農薬を効果的に使う方法を学ぶことで、環境にやさしい農業の実現を目指す。
実施体制、対象者等		<p>対 象：地元農業者、明治大学 事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施予定日	平成 30 年 1 月頃
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	①講習会の開催
	予算等	—
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も内容を検討して、講習会を実施する。

農-4 地元農業者との農産加工品等に関する検討

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元農業者等を対象に、農産加工品開発及び販売に向け、意見交換会や講習会等を行う。 ・黒川地域の加工品を PR する。 <p>目的</p> <p>【地域交流】明治大学の研究成果を活かしながら、大学と地元農業者の交流を深める。</p> <p>【黒川産商品開発】黒川地域の活性化に向けて、黒川産の農産加工品の開発を検討する。</p>
実施体制、対象者等		<p>対象：地元農業者、明治大学</p> <p>協力：神奈川県、セレスモス</p> <p>事務局：川崎市農地課</p>
実施内容	実施予定日	11月11日（土）収穫祭 加工品のPR
	実施場所	明治大学黒川農場
	周知・PR	—
	内容	<p>農産物の加工品について全国的に優れた技術を持っている明治大学黒川農場の客員教授である小清水先生と地元農業者との意見交換を実施する。また、黒川産野菜で作った加工品について、セレスモスと連携しながら収穫祭でPRする。</p> <p>①現在の黒川産の農産加工品について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川産の農産加工品の現状や課題等に関する意見交換やPRの実施。 <p>②今後の開発の可能性やメニューについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の農産物加工品の開発の可能性や、やってみたいメニューについて意見交換し、試作の検討。 <p>③今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の進め方等に関する意見交換
	予算等	—
その他		—

農-5 黒川野菜・果物等のPR（農家による黒川野菜の直売の実施）

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明治大学黒川農場の収穫祭で、大学と地元農業者が連携して野菜を販売し、黒川産の農産物のPRを行う。 <p>目的</p> <p>【黒川農産物のPR】黒川地域の活性化に向けて、黒川産の新鮮な農産物をPRし、販売促進につなげる。</p> <p>【地域交流】農家と直接お話しをしながら、野菜を買いいたいという意見が前回の収穫祭ででていたため、地元農業者が直接販売する機会を創ることで、市民と地元農業者との交流を図る。</p>														
実施体制、対象者等		<p>主催：地元農業者 協力：明治大学 対象：明治大学黒川農場収穫祭の来場者 事務局：川崎市農地課</p>														
実施内容	実施予定日	平成 29 年 11 月 11 日（土）収穫祭														
	実施場所	明治大学黒川農場														
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市政だより、HP等 ・ 明治大学収穫祭告知チラシ、HP等 ・ HP等 														
	内容	<p>収穫祭にて「農家さんの黒川産農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売</p> <p>■ 農産物の種類（案）昨年度実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・ダイコン</td> <td style="width: 50%;">・サトイモ</td> </tr> <tr> <td>・キュウリ</td> <td>・カキ</td> </tr> <tr> <td>・ピーマン</td> <td>・本ユズ</td> </tr> <tr> <td>・万願寺トウガラシ</td> <td>・キウイフルーツ</td> </tr> <tr> <td>・甘長トウガラシ</td> <td>・たまご</td> </tr> <tr> <td>・コマツナ</td> <td>・お米</td> </tr> <tr> <td>・ハクサイのぬき菜</td> <td></td> </tr> </table> <p>（平成 27 年度：14 品目 660 点） （平成 28 年度：13 品目 300 点以上）</p>	・ダイコン	・サトイモ	・キュウリ	・カキ	・ピーマン	・本ユズ	・万願寺トウガラシ	・キウイフルーツ	・甘長トウガラシ	・たまご	・コマツナ	・お米	・ハクサイのぬき菜	
	・ダイコン	・サトイモ														
・キュウリ	・カキ															
・ピーマン	・本ユズ															
・万願寺トウガラシ	・キウイフルーツ															
・甘長トウガラシ	・たまご															
・コマツナ	・お米															
・ハクサイのぬき菜																
予算等	-															
その他		-														

昨年度の取り組み

実施概要	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日
	実施場所	明治大学黒川農場
	参加者数	8 人(地元農業者 5 人、都市農業振興センター農地課職員 3 人)
実施状況 (写真等)	<p>平成 28 年 11 月 12 日開催された明治大学黒川農場収穫祭にて、「農家さんの黒川産農産物の直売所」として、地元農業者による来場者への直接販売した。</p> <p>収穫祭来場者 1,761 人 (前年度 1,122 人) 前年比 157%</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div> <p>■農産物の種類（平成 28 年度：13 品目 300 点以上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイコン ・キュウリ ・ピーマン ・万願寺トウガラシ ・甘長トウガラシ ・コマツナ ・ハクサイのぬき菜 ・サトイモ ・カキ ・本ユズ ・キウイフルーツ ・たまご ・お米 	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の長雨の影響で収穫物が少なく、荷を集めるのに苦労した。 ・部会員を中心とした農業者の協力により、何とか直売を行うことが出来た ・販売用テント横まで軽トラックを入れることができ、荷の管理がしやすかった。 ・収穫祭来場者向けに場内放送を利用した広報をしてほしい。 	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> ・今回で 2 回目の参加。今後も継続して参加することで、黒川産の新鮮な農産物を P R し、販売促進につなげる。 	
その他		

平成 29 年度 地域活性化検討専門部会 実施計画（案）について

検討事項

（1）今年度の取り組みについて

- ・全体スケジュールの確認
- ・各取り組みの実施内容等の確認
- ・7/22（土）トマト&ブルーベリー収穫体験の報告

（2）今後の予定について

（3）その他

地-1 サイン・散策マップの検討・試行

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <p>・散策等の適切な誘導、地域の紹介、マナーアップなども含めたサインの検討・試行を行う。(里地里山保全利活用専門部会と連携)</p> <p>目的</p> <p>【散策環境の向上】来訪者が快適に散策できたり、目的地へ円滑にたどりつける環境を確保すること</p> <p>【マナーアップ】ゴミのポイ捨てや農地の無断立ち入りなど注意喚起をして、来訪者のマナー向上を促すこと</p> <p>【地場材の活用】黒川地域の竹や樹木などの利活用を促す。</p>
実施体制、対象者等		<p>主 催：和光大学（制 作：和光大学教員と学生）</p> <p>協 力：地元農業者、小田急電鉄、セレスモス、黒川営農団地管理組合（農業用倉庫）</p> <p>事務局：麻生区役所</p> <p>対象者：黒川地域の来訪者</p>
実施内容	実施予定日	平成 29 年 10 月～11 月頃
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅～汁守神社～セレスモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場>
	周知・PR	散策マップの配布（黒川駅、セレスモス、町会回覧等）
	内容	<p>① サインの設置</p> <p>サインの制作に当たっては、里地里山保全利活用専門部会とも連携していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合案内サイン（黒川駅から明治大学黒川農場までの全体マップ） ・誘導サイン（散策ルートの誘導のためのサイン） ・位置サイン（里山アートの紹介サイン） <p>②散策マップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みの PR や里山アートの設置場所の紹介なども併せて、暫定版の散策マップを配布する。
	予算等	サイン、散策マップの制作費
その他		-

昨年度の取り組み

実施概要	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日 (土) ~11 月 20 日 (日)
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 〈黒川駅～セレスモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場〉
	参加者数	アート鑑賞者：約 1 0 0 0 名 (参考：収穫祭来場者 1761 名、パンフレット配布数等より推測)
実施状況 (写真等)	①総合案内 (黒川駅前)	②里山アート作品の紹介
		
	③誘導サイン (黒川駅前～明治大学黒川農場周辺)	
		
	④散策ルートマップ (2000 部)	
		
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	・ルートマップについては、アンケートで全員がわかりやすいと回答	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	・昨年の意見を踏まえ、文字を大きくし、文字と背景との色の差をつけるなどの工夫をした。今年度は特に見えにくい等の意見はでなかった。	
その他	-	

地-2 里山景観づくりの検討・試行

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地域の景観向上や来訪者を楽しませるため、緑地や農地に菜の花等季節の草花を植える「里山の景観づくり」の検討・試行を行う。 <p>目的</p> <p>【散策環境の向上】来訪者が黒川の自然を楽しみながら散策できる景観を形成する。</p> <p>【認知促進】里山環境に適した花景観を創出することで、黒川の新たな魅力としてPRし、都市の中で貴重な環境が残っている現状を多くの人に伝える。</p>
実施体制、対象者等		<p>担当：麻生区役所</p> <p>アンケート対象者：収穫祭来場者</p>
実施内容	実施予定日	未定
	実施場所	黒川海道特別緑地保全地区
	周知・PR	—
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の風景と調和した花の景観を形成するため、農作業への影響を考慮しつつ、種類を検討する。
	予算等	—
その他		—

地-3 HP 等による取り組み紹介とイベントPR

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農と環境のまちづくりの取り組みを積極的にPRするため、コンテンツやPR媒体の充実 ・ホームページの更新充実、収穫祭時での紹介パネルの作成、各種取り組みでのアンケートを実施 <p>目的</p> <p>【取り組みのPR・情報発信】 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>【担い手づくり】 「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みやイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行い、取り組みに賛同し、活動に協力してくれる担い手づくりにつなげる。</p>
実施体制、対象者等		<p>担当：麻生区役所 アンケート対象者：収穫祭来場者</p>
実施内容	実施予定日	<p>収穫祭でのパネル展示・アンケート：平成29年11月11日（土） ホームページ：随時更新</p>
	実施場所	<p>パネル展示・アンケート：明治大学黒川農場 本館1階会議室</p>
	周知・PR	<p>麻生区ホームページ（インターネット）</p>
	内容	<p>①取り組みの紹介とPR 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>②イベントの参加募集と活動報告 「農と環境を活かしたまちづくり」に関連したイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行う。</p> <p>③イベントアンケート調査 来場者に向け、農と環境を活かしたまちづくりに関するアンケート調査を行う</p>
	予算等	<p>アンケート印刷費、パネル印刷費、アンケート回答者へのノベルティ代</p>
その他		-

昨年度の取り組み

実施概要	実施日時	収穫祭でのパネル展示・アンケート：平成 28 年 11 月 12 日（土） ホームページ：随時更新
	実施場所	パネル展示・アンケート：明治大学黒川農場
	参加者数	収穫祭アンケート 149 件 （昨年 100 件）
実施状況 (写真等)	<p>・収穫祭におけるパネル展示、アンケートを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">       </div> <p>・黒川の風景を用いたノベルティグッズを作成し、アンケート謝礼として配布した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p>・麻生区ホームページにおいて「農と環境を活かしたまちづくり」として情報を発信した。</p>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・竹あんどんについては、約 7 割がやってみたい、興味があると回答 ・美術展示については、約 8 割が鑑賞してみたい、興味があると回答、取り組みについてのニーズが確認できた。 	
評価と今後の進め方等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は時間を決めずにアンケートを集めたが、目標の回答数を集めることができた。 	
その他	-	

地-4-1 <グリーンツーリズム>

トマト&ブルーベリー収穫体験の実施

計 画

概要・目的	概要	・20～30代男女のモニターを募集し、トマトとブルーベリーの収穫体験と、とりたてを食べる食農体験イベントを実施
	目的	【農体験のPR】黒川産の野菜や果物のPR。参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。 【参加者以外へのPR】報道（メディアあさお）に取り上げてもらうことにより、参加者以外へも幅広い麻生区の農業についての周知を図る。 【ニーズ調査】若い世代の農業についてのニーズや活性化のための意見をいただき、今後の取り組みの参考にする。
実施体制、対象者等		主催：麻生区役所 協力：明治大学黒川農場、セレスモス、川崎市農業振興センター農地課 対象者：川崎市在住・在学の20～30代の男女（モニターとして、当日及び後日送付のアンケートにご回答いただける方）
実施内容	実施予定日	平成29年7月22日（土） 9:30～13:30 9:20 黒川駅南口集合
	実施場所	・ブルーベリー収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学：明治大学黒川農場 ・座談会&アンケート調査等：明治大学黒川農場
	周知・PR	・麻生区ホームページ内での告知 ・タウンニュース掲載 ・チラシの配布（イオン掲示板、食品衛生協会経由飲食店舗、区役所・市民館ラックなど）
	内容	①収穫体験 ・ブルーベリーの収穫 ・トマトの収穫 ②明治大学黒川農場の見学 ・参加者に明治大学黒川農場を見学してもらう。 ③座談会とアンケート調査 ・収穫体験や広報についてなど、今後の様々な取り組みに対するニーズや改善点などの意見をいただき、今後の取り組みの参考にする。
	予算等	参加費無料
その他		-

実施・評価

実施概要	実施日時	平成 29 年 7 月 22 日 (土) 9:30~13:30
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリー収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学：明治大学黒川農場 ・座談会&アンケート等：明治大学黒川農場
	参加者数	14 名 (申込：22 名、欠席連絡有 3 名、連絡なし 5 名)
実施状況 (写真等)	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">9:30 黒川駅南口</div> <p style="font-size: 2em; color: orange;">▼</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">9:50 ブルーベリー畑</div> <p style="font-size: 2em; color: orange;">▼</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">10:10 明治大学黒川農場到着 ・農場見学 ・トマトの収穫体験</div> <p style="font-size: 2em; color: orange;">▼</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">12:00 黒川農場本館 2 階 ・座談会 ・アンケート記入</div> <p style="font-size: 2em; color: orange;">▼</p> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">13:20 セレサモスにて解散</div> </div>	   
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区にこんな取組があるとは知らなかった。 ・収穫体験は、よい経験になった。 ・区内に農地があることが分かったり、農場に入ることができて、嬉しい驚きだった。 ・20~30代が対象だったので、1人でも参加しやすかった。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫できる量が多く、参加者の満足度が高かった。また、座談会を実施したことで参加者同士の交流が図れた。 ・SNS やかわさきイベントアプリ等を活用した告知方法の検討。 	
その他	-	

地-4-2 <グリーンツーリズム> ジャガイモの収穫体験

計 画

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の方を対象にジャガイモの収穫体験を実施し、植え付けから収穫までを通して体験できるイベントにする。 <p>目的</p> <p>【農体験のPR】黒川産の野菜や果物のPR。収穫だけでなく、植え付けの段階から1年を通じて活動することで、参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：麻生区役所 協力：黒川地域、セレスモス 対象者：麻生区民（主なターゲット層未定）</p>
実施内容	実施予定日	未定
	実施場所	黒川地域の農地（未定）
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区ホームページ内での告知 ・チラシの配布（イオン掲示板、食品衛生協会経由飲食店舗掲示、区役所・市民館ラックなど）
	内容	<p>①植付体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいもの育て方の講習会 ・植付 <p>②わき芽かき体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芽かき作業の説明と実施 ・追肥の実施 <p>③草取り作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑の囲い込み（支柱たて）、雑草等の草取り <p>④収穫体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいもの収穫体験 ・試食パーティ
	予算等	参加費：800円程度
その他		<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作付けの場所、講師等の確保 ・類似の既存イベントとの差別化、目的・効果の明確化

地-5 <地域農産物等の活用>菜の花プロジェクト

計 画

<p>概要・目的</p>	<p><u>菜の花プロジェクトの概要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・菜の花プロジェクトは、「農」「地域交流」「循環型資源」を念頭にモデル的な取り組みの1つとして、菜の花を栽培し、その油の利用と、廃油の資源化によるバイオマス資源の地域循環を目指している。 ・平成26年度から明治大学黒川農場の協力により圃場の一部（約2a）にナタネを播種、収穫、菜種油を製造している。平成29年度も継続し、6月頃に種取り、10月に種時きを予定。 ・また、製造した菜種油を使用し、麻生区内の店舗と協働開発したクッキーを、明治大学黒川農場収穫祭で販売し、活動のPRを図る。 <p><u>菜の花プロジェクトの目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕地の活用や里山景観の魅力向上のため ・地元農産物の活用した加工品開発 ・里地里山を活用して循環の仕組みを考えていくため
<p>実施体制、対象者等</p>	<p>主催：明治大学黒川農場、地元農業者、地元店舗、かえるプロジェクト（市民団体）等 協力：麻生区役所</p>
<p>実施内容</p>	<p>実施予定日 菜の花の栽培：通年 商品の販売：平成29年11月11日（土） 収穫祭等</p>
	<p>実施場所 明治大学黒川農場</p>
	<p>周知・PR 収穫祭チラシ、市政だより、町内会回覧等</p>
	<p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地元店舗と協力し開発した商品（全粒粉クッキーなど）の販売による活動のPR ② 旬の地場野菜を使用した親子料理教室の開催（3回） ③ 地域内資源循環への理解を深めるための環境教育プログラム・教材の作成
<p>予算等</p> <p>—</p>	
<p>その他</p>	

地-6 里山アート制作と展示 【里山アートサンポ】

計 画

概要・目的		<p>概要 地区内の農と里山環境を活かした里山アート展示を試行的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストによる作品展示 ・里山アートをめぐるツアー <p>目的 【地場材の活用】黒川地域の竹等を活用した作品を制作する。 【地域の魅力向上】黒川地域の里山にアート作品を展示することで、黒川地域の景観や里山の魅力のPRにつなげる。</p>
実施体制、対象者等		主催：和光大学 制作：和光大学表現学部の学生、卒業生 協力：地元農業者、明治大学、小田急電鉄 事務局：麻生区役所
実施内容	実施予定日	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の展示：11月10日（金）～19日（日）頃 ・ツアー実施：未定
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場の間
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区役所ホームページ内での告知 ・チラシの配布 等
	内容	① 和光大学表現学部の学生の作品 ② 里山アートをめぐる散策ツアー
	予算等	製作費
その他		

<昨年度の取り組みの様子>

実施概要	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日 (土) ~11 月 20 日 (日)
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅~セレスモス~農業用倉庫~広町緑地~明治大学黒川農場>
	参加者数	アート鑑賞者：約 1 0 0 0 名（参考：収穫祭来場者 1761 名、パンフレット配布数等より推測）ツアー参加者 8 名
実施状況 (写真等)	<p>●アート作品展示（合計 12 点、アートパフォーマンス 1 回）</p>     <p>●サトヤマアートサンポ 2016 ツアー（11/12、19）</p>  	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・農場の収穫祭までの道すがら、美術作品を見ながら歩ける企画としてとても気に入っています。 ・とても良い試みだと思います。黒川はいいところですね。 ・作品の解説版をもう少し詳しくして欲しい。 ・アートの取り組みは面白いと思うが、有名になると自動車の渋滞などが心配。 	
評価と今後の進め方等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ツアー参加者が少ないことが課題。事前申し込みは心理的負担となるので、当日受付とすることを検討。 	
その他	-	

平成 29 年度 里地里山保全利活用専門部会 実施計画（案）について

検討事項

里-1 <里山の利活用> 竹あんどんづくり・展示会

- 1) 今年度の実施内容（拡充事項等）
- 2) 実施場所（竹の伐りだし、竹あんどんづくり会場、鑑賞会場など）
- 3) 参加対象者・人数
- 4) 周知方法
- 5) 今後のスケジュール（事前練習、伐りだし日程など）

里-2 <里山の保全管理> 里山保全活動体験

- 1) 実施予定日
- 2) 実施場所
- 3) 参加対象者・人数
- 4) 周知・P R方法

その他 新規の取り組み・活動の充実に向けた取り組み等

里-1 <里山の利活用>竹あんどんづくり・展示会

計 画

<p>概要・目的</p>	<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地域の広町特別緑地保全地区の竹を活用し、地元小・中学生とともに、竹あんどんづくりを実施 ・将来的に地域のお祭りやイベント利用も想定 ・竹行燈を通じて竹林整備の必要性を広く周知するとともに、竹林環境の向上を進める。 <p>目的</p> <p>【地場材の活用】黒川地域の緑地保全管理で伐採した竹材の活用 【地域交流】竹行燈づくりによる地元の子供との交流 【景観づくり】竹行燈を使った地域の魅力づくり</p>	
<p>実施体制、対象者等</p>	<p>主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：黒川竹行燈の会、明治大学 対象者：地元の小中学生（小学生は保護者同伴）</p>	
<p>実施内容</p>	<p>実施予定日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の伐り出し：平成 29 年 月 日（ ） ・竹行燈づくり・展示会：平成 29 年 11 月 11 日（土）収穫祭
	<p>実施場所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の伐り出し：黒川地区内緑地 ・竹行燈づくり：農業用管理倉庫 ・展示会：明治大学黒川農場 1 階 給茶コーナー
	<p>周知・PR</p>	<p>地元の小学校へのチラシの配布 区内庁舎でのチラシ配布、ポスター掲示 町内会掲示板のポスター掲示</p>
	<p>内容</p>	<p>①竹行燈づくり（参加費無料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の小中学生と竹行燈を作る。 （制作した竹行燈は参加者が持ち帰る。） （今後に向けて：制作した竹行燈を汁守神社の参道などに設置し、地域の魅力づくりにつなげていくことを検討。） <p>②里地里山の保全活動に対する意向調査（保護者の方向け）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方向けに、里地里山の保全活動への参加意向などを調査し、今後実施する保全活動体験イベントへつなげる。 <p>③竹行燈の展示会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明治大学収穫祭において、竹行燈の展示会等を実施し、竹の活用による竹林環境の向上を目的とした活動のPRを行う。
	<p>予算等</p>	<p>チラシ印刷費、材料費等</p>
<p>その他</p>	<p>－</p>	

【昨年度の取り組み】

実施概要	実施日時	平成 28 年 11 月 12 日 (土) 9:00~11:45
	実施場所	・竹の伐り出し：黒川地区内緑地 ・竹行燈づくり：農業用管理倉庫
	参加者数	子ども：8名、保護者：8名
実施状況 (写真等)	<p>9:00 農業用倉庫集合</p> <p>9:15 竹を伐り出す</p> <p>10:00 農業用管理倉庫 (制作開始)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 竹を切る 2. ライトを入れる穴を開ける 3. 穴を開ける絵を描く 4. ドリルで穴を開ける <p>11:30 みんなで鑑賞</p> <p>11:45 終了</p>	   
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<p>●参加者の声（保護者の声）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回もイベントに子供を参加させたい。 ・小学校低学年でも参加できるイベントがほしい。 ・大人向けの竹行燈づくりをやってみたい。 	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> ・好評のため、次年度も継続して実施する。 ・ただし、参加者が少なかったため、来年度実施の際には、募集対象地域の拡大など、周知方法の工夫を行う。 	
その他		

里-2 里山保全活動体験

計 画

<p>概要・目的</p>	<p>概要 里山での保全活動体験（草刈りや竹伐りなど）を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつなげるイベントを検討</p> <p>目的 【里地里山の保全】黒川地域の里地里山環境の保全につなげる 【担い手づくり】将来的な担い手づくりに向け、黒川地域の里地里山を保全する人材を発掘・育成していく</p>	
<p>実施体制、対象者等</p>	<p>主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：地元農業者、川崎市公園緑地協会 対象者：地元住民、他</p>	
<p>実施内容</p>	<p>実施予定日</p>	<p>平成 30 年 月 日 ()</p>
	<p>実施場所</p>	<p>黒川よこみね緑地</p>
	<p>周知・PR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(里-1) 竹行燈づくりに参加した保護者への呼びかけ ・区内庁舎でのチラシ配布 ・町内会掲示板のポスター掲示 ・川崎市公園緑地協会に登録されているボランティア団体への呼びかけ ・「緑と森の美術展 in 黒川」に出展した作家への呼びかけ
	<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆主な活動内容：下草刈り（アズマネザサ等の除伐） <ul style="list-style-type: none"> ・里地里山の保全活動の一環として、緑地に繁茂している下草（アズマネザサ等）を刈る。 ◆活動のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・ササ刈りで雑木林が明るくなり、安全で生物多様性の高い里山がよみがえる。 ・散策路周辺のスサを刈ることで、道幅が確保され、散策の場としての里山の利活用につながる。 ・手鎌を使ったササ刈りは誰でも参加でき、短時間でも成果が出て、達成感が得られる。
<p>予算等</p>	<p>チラシ印刷費等</p>	
<p>その他</p>	<p>—</p>	

【昨年度の取り組み】

実施概要	実施日時	平成 29 年 2 月 19 日 (日) 9 : 00 ~ 11 : 45
	実施場所	黒川よこみね特別緑地保全地区
	参加者数	9 名 (申込 : 10 名)
実施状況 (写真等)	<p>■ 当日の流れ</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>9 : 00 はるひ野駅集合 (受付)</p> </div> <p style="text-align: center;">▼</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>9 : 15 開会式</p> </div> <p style="text-align: center;">▼</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>9 : 30 黒川よこみね特別緑地保全地区 (作業開始)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道具の配布 2. 作業説明 3. ササ刈り <p style="text-align: center;">休憩 (15 分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 作業再開 5. 片づけ・道具の手入れ </div> <p style="text-align: center;">▼</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>11 : 45 閉会式・解散</p> </div>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段は出来ない体験ができて楽しかったです。 ・ 初めての体験で山がどんどんきれいになってゆくのが感じた。いい運動になり、リフレッシュできた。 ・ 林がきれいに明るくなった。風景が楽しめるように感じます。 ・ 目標としていた場所までササを刈りきれなかった。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較的簡単な作業であったので、女性や子どもでも手軽にできた。 ・ スタッフと参加者が交流できる機会が少なかったため、自己紹介や作業時のコミュニケーションなどが取れるとよい。 ・ 参加者が少なかったため、来年度実施の際は、市公園緑地協会に登録されたボランティア人材への積極的な働きかけなど、募集方法の工夫を行う。 	
その他		

